

船舶事故等調査報告書

平成22年3月25日

運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2009広第64号	
事故等名	乗揚	
発生日時	平成21年2月2日 06時05分ごろ	
発生場所	香川県丸亀市広島西岸波節岩灯標から真方位304°3,100m付近（概位 北緯34°21.6′ 東経133°41.1′）	
事故等調査の経過	平成21年2月26日、本事故の調査を担当する主管調査官（広島事務所）ほか1人の地方事故調査官を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報	<p>船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等</p> <p>貨物船 第三喜代丸、193トン 131763、三輝汽船株式会社</p>	
乗組員等に関する情報	船長、四級海技士（航海）	
死傷者等	なし	
損傷	船首部船底外板に擦過傷	
事故等の経過	本船は、船長ほか1人が乗り組み、船首約1.0m、船尾約2.7mの喫水で、速力約10ノットで備後灘を北東進中、単独で船橋当直中の船長が居眠りに陥り、平成21年2月2日06時05分ごろ、広島西岸に乗り揚げた。	
気象・海象	<p>気象：天気 曇り、風向 南西、風力 4、視界 良好</p> <p>海象：潮汐 上げ潮の初期</p>	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	<p>あり</p> <p>なし</p> <p>なし</p> <p>本船は、備後灘を北東進中、単独で船橋当直中の船長が、いすに腰掛けて居眠りに陥ったため、広島西岸に乗り揚げたものと考えられる。</p> <p>船長は、5日間の休暇をとり、休養は十分であったが、事故直前の睡眠時間は約4時間であったものと考えられる。</p>
原因	本事故は、本船が備後灘を北東進中、単独で船橋当直中の船長が居眠りに陥ったため、広島西岸に乗り揚げたことにより発生したものと考えられる。	